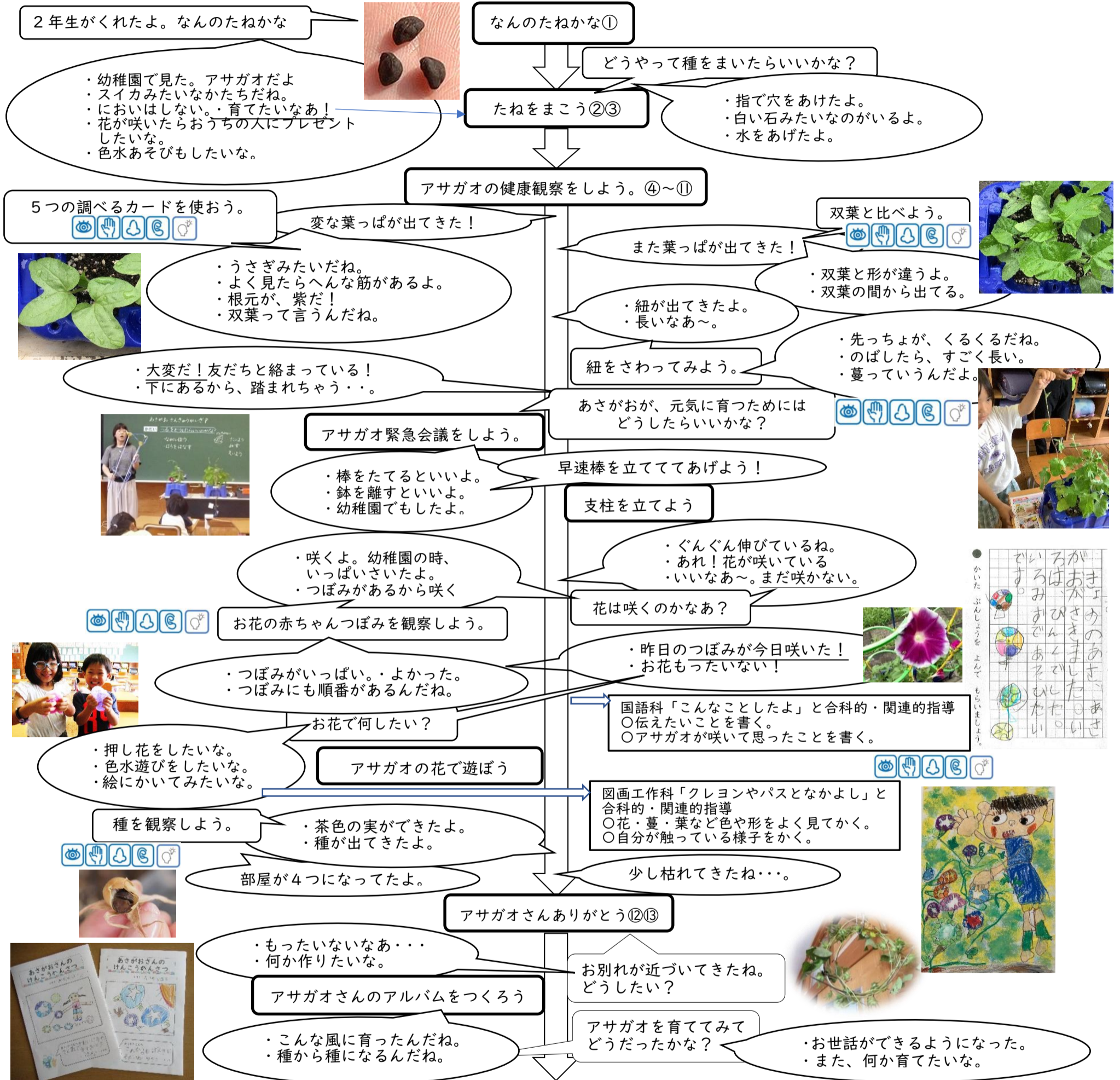


# 竹田市立南部小学校 1年生 5~8月 単元名「きれいにさいてね わたしのはな」(13時間)

単元目標	アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にすることができている。
内容	身近な人々・社会及び自然にかかわる活動に関する内容(7)「動植物の飼育・栽培」自分自身の生活や成長に関する内容(8)生活や出来事の伝え合い
幼児教育からのつながり	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">自立心</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">言葉による伝え合い</div> </div>

【学びのプロセス】\*○数字は、何時間目かを表す



アサガオに名前を付けた時から、小さな友達のようにお世話を始めた。毎日水をやりながら、手定規を使って生長を喜んだり、健康観察で見つけた葉や蔓、つぼみなどの成長や様子を確かめたりしていた。なによりも、最後まで大切に育てている様子が見られた。

指導上の留意点	◇子どもの気付きから課題を設定 →子どもの困りや不思議を課題にすることで、主体的に予想したり問題解決をしたりしていく →その後の観察に生かす(例: C「蕾にも色々ある。」 T「どれが一番に咲きそう?」 C「アイスクリームの上の部分が開いていっているよ」 「色が少しずつ出てきているからこの順番!」、次の日 C「これ、もう咲くと思うよ!ソフトクリームだもん!」など)
	◇子どものゴールイメージから図工「アサガオの絵をかこう」や国語「こんなことしたよ(作文)」など合科的・関連的な指導を展開する。 ◇園や家庭で育てた経験を思い出させる時間を設ける。 ◇授業時間だけでなく、遊び込めるように色水遊び等を休み時間でもできるように準備しておく。(自由遊びのイメージ)

本単元を通して育つ資質・能力	<b>《知識・技能》</b> アサガオを育てる活動を通して、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気づいている。	<b>《思考力・判断力・表現力》</b> アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができている。	<b>《学びに向かう力・人間性等》</b> アサガオを育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にすることができる。	今後の学習とのつながり ○2年生 生活科 「めざせ野菜作り名人」 ○3年生以降 理科 <植物の栽培>
----------------	---	---	---	--

